

平成 30 年度 第 1 回

甲 州 市 総 合 教 育 会 議 会 議 録

平成 30 年 11 月 20 日 開会

平成 30 年 11 月 20 日 閉会

甲州市政策秘書課

- 1 日 時 平成 30 年 11 月 20 日 (火)
午前 10 時 00 分開会
午前 10 時 50 分閉会
- 2 場 所 甲州市役所 本庁 2 階 第二会議室
- 3 出席者 田辺篤甲州市長
甲州市教育委員会
保坂一仁教育長 岡村久美子教育長職務代理者
古屋安廣委員 矢崎秀明委員
事務局職員
政策秘書課長 (事務局長)
教育総務課長 生涯学習課長 文化財課長
政策秘書課 政策調整担当リーダー 政策調整担当
教育総務課 教育総務担当リーダー 学校教育担当リーダー
学校教育指導主事

4 欠席委員 荻原浩洋委員

5 協議事項等

- (1) 平成 31 年度教育委員会関係予算について
- (2) 学校統廃合について
- (3) その他

6 議事経過

(午前 10 時 00 分開会)

○町田事務局長

それでは、定刻になりましたので、ただ今から平成 30 年度第 1 回甲州市総合教育会議を開催いたします。

会議に先立ちまして、挨拶を交わしたいと存じます。ご起立ください。相互に礼。ご着席ください。

私は、総合教育会議の事務局長を務め、会議の進行をいたします、政策秘書課長の町田と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

それでは、お手元の次第により、会議を進めさせていただきます。

はじめに、田辺市長からご挨拶を申し上げます。

○田辺市長

本日は、今年度第1回目の総合教育会議の開催にあたり、ご多忙の中ご出席をいただき、誠にありがとうございます。また、日頃より本市の教育行政に格別なご尽力を賜り、心から感謝を申し上げます。

さて、本市では本年3月に「第2次甲州市総合計画」を策定し、各種施策を推進しておりますが、教育分野においては、「心豊かな人を育む 教育・文化のまちづくり」を基本目標に掲げ、時代を担う人材を育成し、誰もが共に学ぶことができる、本市らしい文化の創造を目指しております。

そうした中、教育委員会には、総合計画に基づき、教育のさらなる振興を図るため、本市の目指す姿や取り組むべき施策を具体的に定めた「第2次教育振興計画」が策定されております。各施策の実現に向け、教育委員会との連携・協力が大変重要だと考えております。どうぞよろしくお願ひいたします。

本日は、「教育委員会における来年度予算の方針」や「学校の統廃合」について、活発なご意見をいただき、有意義な会議となるよう、ご協力をお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。

本日は大変ご苦勞様です。

○町田事務局長

ありがとうございました。

続きまして、次第の3、議事に入ります。

まず議事(1)「平成31年度、教育委員会関係予算について」、教育委員会の事務局である教育総務課より平成31年度の教育関係予算の方針をご説明いたします。

○村松教育総務課長

それでは、私から教育委員会3課の予算方針について説明します。

過日、財政課より示された「平成31年度予算編成方針」に基づき、教育委員会としても同様の方針で取り組んでいきます。

教育総務課の予算要求については、本市の大変厳しい財政状況を踏まえ、前年比10%削減のシーリング、スクラップ・アンド・ビルドの徹底、既存事業の見直しなどを行っていきたいと考えています。また予算計上に当たっては、学校教育に関する4つの基本的な考え方を踏まえています。

1つ目は、“学校は勉強するところ”であることを踏まえ、甲州教育に必要な経費を計上する。2つ目は、学校施設の危険個所の改善・児童生徒の健康管理・学習環境を改善するための経費を計上する。3つ目は、学校教育全体の経費を考え節約に努める中で、保護者負担の軽減を踏まえた計上をする。4つ目は、教職員の働き方改革の喫緊の課題を踏まえ、業務の効率化を進めるための経費を計上する。

この4つを基本に掲げて、予算要求をすることにしていきます。

続いて、生涯学習課については、「社会教育」「青少年育成」「公民館活動」「図書館」「スポーツ振興」「オリンピック対策」「勝沼・大和両地域の生涯学習・公民館」と多岐に渡る分野となっています。予算要求としては、既存事業の見直し、また所管施設が多いことから、その維持管理経費について精査することにしていきます。またオリンピック対策経費については、一層の機運醸成、また交流の促進が図られるよう、関係各課と連携する中で、予算要求をすることにしていきます。

続いて、文化財課については、勝沼地域において、これまで調査を行ってきた「勝沼ブドウ畑及びワイナリー群の文化的景観」について、平成31年度に文化的景観の地区決定に必要な「保存計画の策定」や「構成要素の抽出」を行うべく、山梨大学などの研究機関及び景観計画の主管課である都市整備課などと連携を取りながら進めていく予定です。また「甲州市歴史的風致維持向上計画」に位置付けている事業については、年に5回ほど開催している「歴史的風致散策」や年6回開催している「上条集落見学会」などソフト事業を中心に進めていく予定です。

○町田事務局長

ありがとうございました。ただいま、教育総務課より説明ありました。教育総務課、生涯学習課、文化財課、それぞれが方針に基づいて予算を要求していくとの説明がありました。ご意見等がありましたらよろしく申し上げます。

○保坂教育長

今、教育総務課長から説明したように3課がそれぞれ特徴を持って予算要求に係る事務を進めています。

生涯学習では、公民館活動や図書館活動等が充実していき、ご存じのようにLibrary of the Year 2018で勝沼図書館が日本一になり、非常に住民に親しまれている図書館運営を行っており、また甘草屋敷の図書館も含めて非常に充実しています。それから2020年のオリンピックに向けては、色々な講座を行いながら市民の機運醸成を高めています。

文化財では、先ほど話があった文化的景観や歴まちの取り組みは、全国的な規模で歴史文化を大事にするようなまちづくりを目指しています。

学校教育では、色々なデータから見ると、学力は全国平均よりかなり上回り、子ども達の心の問題についても安定しているデータがでていきます。またハード面については、お金がかかるということで、この辺については、私共も厳しい状況を踏まえ抑えていきたい。ソフト面については、ご理解いただき、将来の宝である子ども達や文化歴史を大事にする事業に是非とも予算配分をお願いします。

また、学校教育予算の関係で、現状を理解していただくために、「甲州市の教育」と「QU分析」の資料を用意しました。この分析についても予算を使っていますので、市長へご報告したいと思っております。指導主事から簡単に説明します。

○山田学校教育指導主事

(「甲州市の教育」と「QU分析」について、資料に基づき説明する。)

○町田事務局長

ありがとうございました。「甲州市の教育」と「QU分析」のソフト部分について説明いただきました。このような事業を行い、分析することで、甲州市の教育はしっかりしていると分かります。ただ一方では、甲州市の財政状況が非常に厳しい中で予算を効率的・効果的に使っていかなければなりません。何かご意見等がありましたらお願いします。

○古屋教育委員

今年の夏は、非常に暑かったわけですが、甲州市は各学校の普通教室へエアコンを設置していただいております。今年の暑さをみて、国では小中学校へのエアコン設置のために予算化する話もでましたが、本市は先行して、子どものために要望を聞いていただきました。また生涯学習課や文化財課においてもそれぞれ事業を行っていますが、教育委員会関係の事業はお金を使った分だけの成果がパッと目に見えることが少ないです。厳しい財政状況は分かっていますが、子どもへの投資は未来への投資とよく言われます。それぞれの現場で様々な対応ができるよう予算の配当をお願いします。市長をはじめ市当局の配慮には感謝しています。今後ともよろしくをお願いします。

○矢崎教育委員

今、古屋委員から成果の話がありましたが、学校教育はもちろんですが、文化財ですと他の地域への発信力もあるため、地元への効果がありますので、お金もかかりますが、決して無駄ではないと考えてもらいたいと思います。教育委員会では、財政状況も重々承知しながら甲州市民、子ども達のためを考えて取り組んでいます。統廃合などの大きな問題もありますが、予算あってのことなので、感謝をしながら皆やっていますので、ご理解をいただければと思います。

○岡村久美子教育長職務代理者

先ほどから予算の話が出ています。学校訪問中に感じたことですが、先生方も忙しい状況の中、限られた予算をいかに有効に使うかを考えていました。例えば、先生方が100円均一で学校の備品を買っていることを聞きましたが、日頃から子ども達のために努力されていると感じました。限られた財源ではありますが、子ども達の健全な教育のために先生方の努力があることも知っていただきたいと思います。

○田辺市長

学校現場の状況については承知しており、十分に理解しています。

○古屋教育委員

甲州市にもふるさと納税があると思いますが、返礼品は除いて、寄付いただいたお金がどこにどのように使われているか市民はあまり分かっていないように感じます。

○田辺市長

ふるさと納税については、効果的に使わせていただいています。また本市は他の自治体と比べて教育予算が充実している方だと思っています。

○古屋教育委員

それはとても理解していますので、もう少しアピールをしていったほうが良いと感じます。

○田辺市長

本市の財政状況が他市と比べて大変厳しいことは理解されていると思いますが、市の歳出を年々削減していかなければならない状況です。これは教育費においても同様になりますので、先生方にはご苦勞をおかけしますが、健全な学校運営のため、より一層のご理解ご協力をお願いします。

○保坂教育長

市長の理解と財政状況は教職員も理解しています。

○矢崎教育委員

特に確かな学力プロジェクト事業について、先生方はとても感謝していますし、保護者からも高い評価を得ていると聞きます。

○田辺市長

市外の学校に勤務している先生方の中には、甲州市の学校に勤務したいと言ってくれる方もいると聞くことがありますので、最大限の努力はしていきたいと思えます。

○町田事務局長

他にご発言がないようですので、ここで、「平成 31 年度教育委員会予算について」を閉めたいと思えます。

今後、新年度予算につきましては、財政当局とのヒアリングがありますので、そこで、本日の意見等を踏まえた上で、予算要求や調整等を行っていただきたいと思えます。

次に、議事（2）「学校統廃合について」のご意見をお願いしたいと思います。

学校の統廃合については、市議会でも数回一般質問を受けているところです。今年の3月に岡部議員の質問に対して、教育長より「学校関係者や保護者、地域の皆様のご意見をいただきながら、平成33年を目途に中学校の統合を行ってまいります」との発言もいただいています。そういった背景を踏まえて意見がありましたらお願いします。

○田辺市長

合併してから初めての学校統廃合になります。様々な問題があると思いますので、関係各課が連携して対応するなか、平成33年4月の中学校再編に向けて取り組んでいると思います。まず勝沼中学校と大和中学校において進めていると思いますが、塩山地域においても、各方面から意見を聞くなかで進めてほしいと思っています。また小学校についても、子育て世代の意見を聞きながら、学校運営面や学校教育面を総合的に考慮するなかで、地元に戻ってきてくれるような魅力ある学校づくりをお願いしたいと思います。

また本市は大変厳しい財政状況です。これから先、様々な公共施設の老朽化対策をしていかなければなりません。持続可能な財政運営のため、公共施設等総合管理計画の方針に沿って計画的に行っていく必要があると思っていますので、教育委員会においては、社会教育施設やスポーツ施設、学校施設など多くの施設がありますので、今後の施設の在り方についても十分議論してもらいたいと思います。

○町田事務局長

他に何かご意見がありましたらお願いします。

○田辺市長

小学校はまだにしても、問題は、塩山北中学校と松里中学校をどのようにするべきか。これは、塩山高校の在り方も大きな問題となっていて、今のままでは塩山高校が無くなってしまう可能性もあります。塩山高校と塩山北中学校、松里中学校の中高一貫校を考え、以前の塩山高校のところへ戻れるよう塩山高校と産業短期大学校の場所を交換できないか県教委と話をしたことがあります。

今の塩山高校の生徒は、土曜日曜に通学バスがないため、雨が降るととても大変と聞いています。

そうしたなか、塩山北中学校と松里中学校の2校は、現状では塩山中学校へ統合することは難しく、2校統合でも人数が少ないということで、塩山高校と2校が中高一貫校として駅の近くにあれば、今の駅北口周辺が活性化してくると思います。

○矢崎教育委員

先ほど市長が話したことについて、最近、県立高校では統合問題があり峡東地域でも減る動きがあります。

○田辺市長

そのような可能性もあると思います。

○矢崎教育委員

時代の変わりようで統廃合ということも有り得るかもしれません。

高校の統合がどのようになるかわかりませんが、そうした時に甲州市としては、塩山高校を残していきたいと思います。山梨市には山梨高校と日川高校があり、東山梨地区に3校あります。これから生徒の数が減るので、3校のうちの1校が減るようなこともあると思います。

○田辺市長

駅の近くという立地は大きいですよ。周りの高校の様子を見ると、高校は駅の近くにある方が良いと思います。そういう意味で、産業短期大学校の場所に高校があると良いのではないかと考えています。

また、心配なのは、大和中学校と勝沼中学校が統合した際に大和の生徒が駅から近い塩山中学校を選択する場合や、最悪の場合は塩山駅を通り越して山梨市や甲府市の中学校へ行くのではないかとという心配があります。

○矢崎教育委員

塩山中学校であればまだ良いと思いますが。

○岡村久美子教育長職務代理者

先ほど、市長が話された中高一貫教育の件ですが、以前に県から身延高校が中高一貫教育を進めていると話を聞きました。

○田辺市長

その時の県の教育長が現在、産業短期大学校の校長になっています。

○矢崎教育委員

保坂教育長と話しましたが、市の将来像を描き、小学校がいくつ、中学校がいくつと決めてから統合しなければ、人数が減るたびに統合を繰り返しても大変になります。

○田辺市長

中学校より小学校の統合に関しては、学校が無くなってしまう地域の保護者のなかには、あまりよく思わない方もいます。

○矢崎教育委員

おじいさんやおばあさんも同じような考えが多いです。

○古屋教育委員

中高一貫教育や大和と勝沼の中学校を統合するという考えではなく、まず甲州市の中学校教育をどうしていくかということで考えなければならないと思います。通学を含めて色々な問題がある中、様々な統合の形が見えてくるのではないかと思います。松里中学校と塩山北中学校の問題に関しては、塩山中学校に統合し大きな学校にするのか、一旦は2校で統合し、市内3校体制にするのかを先に結論付け、その上で中高一貫を考えたほうがいいのではないかと思います。

○町田事務局長

ここで、統合について、それぞれ意見交換をされていますが、現在の学校統廃合に向けた取り組み状況を教育総務課より報告します。

○村松教育総務課長

今年度の取り組みとしては、6月に各中学校区で開催した「地域教育協議会」の話し合いの中で、児童生徒数の推移と学校施設整備計画の概要を配布し、今後の学校の在り方についてご意見をいただきました。

今後のスケジュールとしては、学校統合を進めている先進自治体から情報を収集し、市民アンケートにより、広く意見を収集する予定です。

○町田事務局長

ありがとうございます。教育総務課より統廃合に向けた取り組みについて、説明がありました。先ほどの意見交換と合わせまして、引き続き話し合いをお願いします。

○岡村久美子教育長職務代理者

地域教育協議会からはどんな意見がありましたか。

○村松教育総務課長

直接、統合という言葉には触れてはなかったのですが、将来の児童生徒数の推移表を見せたところ市民の方も危機感を持っていました。意見としましては、学校の再編を行う場合には、どの学校とどの学校ということではなく市全体で小中学校をどのようにしていくのかという議論を行った上で、方向性を決めた中でその方向に進んでいくのか良いのではないかと思います。

○保坂教育長

教育というのは、小学校・中学校・高校と繋がるものであります。高校の再編もありますので、しっかり見通しを持ってやっていかなければなりません。先ほど市長から話がありましたように松里中学校と塩山北中学校が塩山高校へということ

なのか、または塩山地域全体として塩山中学校も含めた塩山高校の中高一貫教育の考え方があります。県の意向もしっかり聞いた中で、再編を考えていかなければならないと思いますので、県教育委員会と接触する機会を作り、高校の在り方をどうしていくか将来を見据えながらやっていきたいと思っています。

今、勝沼中学校と大和中学校は、コミュニティスクールで連携ができていますので、これは議会で発言したとおり平成 33 年目途にやっていくようなスケジュールを組んでいかなければならないと思っています。

○田辺市長

中学校統合の問題は、保護者の皆さんの期待や関心がとてもある部分であると思います。小学校も含めたなかで、各小中学校の PTA・保護者に集まってもらい、意見を聞くこともいいのではないかと思います。統合の問題に関心はあるが、具体的な発言の場がないので市に意見が届かないのではないかと考えています。

○矢崎教育委員

保護者の意見集約は、なかなか教育委員会が音頭をとることは難しい気がします。市でそのような場を設けて意見を集約する必要があるのではないかと考えています。

○田辺市長

別にどこが統合についての意見を聞くのではなく、まずは教育委員会がこれから先に子どもが減っていくなか学校をどのように考えていくかを保護者に聞くことが必要だと思います。様々な選択肢の一つとして統合があるということです。

○矢崎教育委員

気持ちを聞くということですね。大事なことだと思います。

○田辺市長

小学校の保護者が感じていることと中学校の保護者が感じていることは全く違う可能性もあります。

○古屋教育委員

現在、大和地域の生徒の中には、大和中学校へ進学せずに塩山中学校へ行ったり勝沼中学校へ行ったり、あるいは甲府市の学校へ行っている人もいます。その辺については、現実的に発言の場がないので、声には出てないと思うのですが、大和地域の保護者は子どもが小学生のときから進学先をどこにするかを考えていると思います。ただし、大和地域だけの話ではなくて、他の地域との関りや将来的な方向性が出されていることも大事だと思います。例えば、将来的に塩山北中学校と松里中学校が統合するのであれば、その統合中学校へ行かせたいと考える保護者もいると思います。

また中学校の統合によって小学校の統合についても最終的に中学校単位になるのではないかという将来像も見えてくると思います。そういう意味で、中学校再編のビジョンを考えなければならないと思います。現在の1歳児までは、どの小学校も現状維持に近いのですが、その先はまだ読めません。10年先にはもっと児童生徒が減っていくことを考えるといずれ小学校の統合問題も考えていかなければなりません。その目安になるような中学校統合でなければならないと思います。

○町田事務局長

これから教育総務課が対象者へアンケートを実施する話や先ほど教育長の発言にあったスケジュールの話がありましたので、そのことについて、教育総務課長から説明がありましたらお願いします。

○村松教育総務課長

本日の意見を踏まえた上で、保護者の方へのアンケート調査を早い段階で実施し、統合についての結論を出したいと考えています。

○町田事務局長

ありがとうございます。平成30年度から平成34年度まで甲州市教育振興基本計画の中では、特に学校統廃合には触れてはいないようですが、教育委員会においては、市長の考えを踏まえる中で統廃合の考え方についての整理をしていただき、本日の協議内容を踏まえまして、統廃合に係る様々な検討を重ねながら進めていただきたいと思います。

○町田事務局長

他にご発言がないようですので、次に、議事(3)「その他」ですが、皆さんから何かございましたらご発言をお願いします。

○特になし

○町田事務局長

本日は、貴重なご意見、慎重なご協議、ありがとうございました。

それでは、あいさつを交わし、甲州市総合教育会議を閉じさせていただきます。ご起立ください。

相互に礼。ありがとうございました。

(午前10時50分閉会)